

平成 30 年度 第 2 回土壌貯蔵施設等の整備・管理等に関する検討委員会 議事要旨

1. 日 時：平成 31 年 3 月 1 日（金） 14:00～16:00
2. 場 所：JESCO 本社 5F-A 会議室
3. 出席委員：遠藤委員長、川瀬委員、清委員、谷委員、登坂委員
(オブザーバー) 環境省
4. 議 題：
 - (1) 土壌貯蔵施設に係る維持管理の基本的な考え方について
 - (2) 土壌貯蔵施設に係る維持管理マニュアルについて
 - (3) 検討委員会スケジュール

議題

(1) 土壌貯蔵施設に係る維持管理の基本的な考え方について

第 1 回委員会における指摘事項等を反映させた「基本的な考え方（修正案）」について修正内容等の説明を行った。

主なコメントは以下のとおり。

- ・「周辺環境への影響事象」と「リスクマップにおけるリスク発生時の影響度」の整合性について改めて確認すると共に、リスク発生時の影響度の定義についてはもう少し具体的な記載にした方が良いかと思われる。
- ・敷地境界の空間線量率モニタリングについて、敷地境界とはどこを指すのか明確化すると共に、測定箇所についても敷地境界のみで良いのか検討した方が良い。

(2) 土壌貯蔵施設に係る維持管理マニュアルについて

維持管理マニュアルにおける、管理項目や方法等について説明を行った。

主なコメントは以下のとおり。

- ・施設安全性に対するリスクだけでなく、人間侵入に対するリスク、特に事後的な措置としての人的被害の早期発見や対応等について考える必要があるのではないか。
- ・キャッピング工上の雨水排水への配慮が必要である。
- ・環境モニタリング項目の内、処理水のダイオキシン類などは、除去土壌のみ搬入している現状を考えれば不要な項目かと思われるため、これまでのモニタリングデータも踏まえつつ必要な項目を検討していく必要がある。

(3) 検討委員会スケジュール

今後作成する異常事態対応マニュアルのたたき台を検討するため、また、マニュアルの修正案を確認するため、次回委員会を来年度に開催予定。

以上